## 2026 年夏・JCR の新たな船出

# 会員区分再編と名称変更による組織の深化と発展に向けて

日本放射線科専門医会・医会
副理事長　中村聡明

2026 年夏、日本放射線科専門医会・医会は、会員の皆様お一人おひとりの専門性やライフステージに寄り添い、より価値のあるベネフィットを提供することを目指して、大きな変革へと踏み出します。近年の放射線科医療を取り巻く環境の変化は著しく、専門医制度の確立や働き方の多様化、若手医師の育成、そしてベテランの先生方の継続的なご活躍など、時代に即した柔軟な組織体制へのアップデートが不可欠となっています。本稿では、皆様とともに歩む本会の未来を見据えた、会員区分の再編および名称変更の方向性についてご報告申し上げます。

### 1. 専門医制度を基軸とした「正会員・準会員」の定義見直しと若手の早期登用

まず本会が着手するのは、組織の根幹である会員区分の定義見直しです。今回、組織の活性化に向けた最も大きな前進となるのが「正会員」の要件変更です。

これまで正会員は、2 次試験を合格された「放射線診断専門医」および「放射線治療専門医」の先生方を対象としておりました。今回の見直しではこの門戸を大きく広げ、1 次試験を合格された「放射線科専門医」の皆様を新たに「正会員」としてお迎えすることといたしました。

この変更は、放射線医学の基礎を修めた若手・中堅の先生方に、より早い段階から本会の中心的な活動へ参画していただくことを目的とした未来への投資です。正会員としての権利とベネフィットを早期から提供することで、2 次試験合格に向けたキャリア形成を力強く後押しし、組織全体に新たな活気と多様な視点をもたらすものと確信しております。あわせて従来の「準会員」についても、「日本専門医機構専門研修プログラムの放射線科研修医」とし、若手への支援体制をより強固なものとしてまいります。

### 2. 多様なキャリアと連携を支える「新たな会員区分」の創設

会員の多様なライフスタイルと職能を尊重するため、新たに 3 つの区分を設置することを検討しております。

- ジュニア会員（初期研修医対象）：将来の放射線科医療を担う初期研修医の先生方を対象に新設いたします。放射線科に興味を持つ若い世代が、早期から本会の活動や専門医との交流に触れる機会を設けることで、次世代の放射線科医育成を強力にバックアップします。
- シニア会員・終身会員（65 歳以上）：長年にわたり日本の放射線医学を支えてこられた先生方の知見は、本会にとってかけがえのない財産です。定年や勤務形態の変化を経ても、これまでの経験を活かして無理なく本会に関わり続けていただけるよう、年齢や所属期間に応じた「シニア会員」や「終身会員」の制度設計を目指します。
- アソシエイト会員（他診療科の医師対象）：放射線科以外の専門を持ちながら本会の理念に賛同してくださる先生方を対象とします。他診療科との連携を深めることで、放射線医学への理解を広め、医療現場におけるより円滑な協力体制の構築に寄与してまいります。

### 3. より明確な存在へ：本会名称の変更

会員区分の再編に合わせ、本会の名称も現在の「日本放射線科専門医会・医会」から、より簡潔で本質を捉えた「日本放射線科専門医会」へと改称する方向で検討を進めております。

この変更は、これまでの歴史と伝統を重んじつつも、専門医制度に基盤を置く職能団体としての位置づけを社会に対してより鮮明に示すことを目的としています。2026 年夏の定款変更手続きを経て、専門医相互のつながりをより強化し、会員の皆様が誇りを持って活動できる組織としての自覚を新たにする象徴的な一歩となります。

### 結びに

今回の見直しは、若手の活力を取り込みつつ、ベテランから他診療科の医師までが手を取り合い、放射線医学の発展と会員皆様の実感できるベネフィット創出を目指しております。

詳細な規程等については、今後ホームページおよびメールマガジンで随時ご案内いたします。会員アンケートも実施しますので、ぜひ本見直しに対する皆様の忌憚のないご意見をお寄せください。新たな時代に即した体制構築に向け、皆様の変わらぬご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。